

野
島

1034

軍務局

一月六日



海軍

大正十三年三月

大正十二年一月四日午前九時十分
吳鎮守府司令長官 海軍大臣 吳鎮守府司令長官 12. 1. 16

第二課 海軍大臣

電報 訖

吳鎮第四五號ノ四七ノ二報告野島ノ行動中
左ノ通改ム

三日高雄發 八日佐世係着 十日發 十日西戸崎着

台湾總督府ノ毛管所(實用材ノ處) (通) 海軍

(富井納)

四三三

大正十二年一月十三日

吳鎮守府司令長官 鈴木貫太郎

海軍大臣男爵加藤友三郎殿

第二課 野島行動予定変更一件

正月十三日吳鎮守府第四五號四七一二報告特務船野島西

戶崎架以後ノ行動ヲ左ノ通以テ

左報告ス

地名 着 双葉

西口塚 一月十五日

吳 一月十三日 二十日

大股 二十日 二十三日

横須賀 二十五日

台湾必留存森林係ノ田加附(不為事)田加子



一月十五日 公報

先
軍務局



號外

大正十一年一月十七日於吳

第三課

特務艦野島

軍務局接受
二月廿日

海軍省副官殿

公報掲載方件

左記ノ通海軍公報ニ掲載方御取慮ヲ得度
右依頼之

二月中特務艦野島行動豫定

所在

著

發

横須賀

一日

1037

英 西 彦 崎
佐 日 保
馬 公

三 日
十 日
十 日
二 十 四 日

十 日
十 日
二 十 日

終

1038

月十九日

軍務局

電報着信紙

局	着	局	發	名氏所居人信受	
收報者	受付午後	受付午前	第一〇	第二課	名氏所居人信受
	〇時	七時八日	局	官報	

野島行動予定中大阪ヲ
神戸ニ改ム
一月十八日
吳鎮長官

ノホ、コウトウ
イナウオホサカ
ニマラタ人

指	名氏所居人信受
定	第四九號
事	印附日信着
記	軍務局接受 12.1.19

1039

軍務局

一月二十九日

公報

海

海軍

機密半葉十三行紙

大正十二年一月二十七日午後

二時三十分

海軍大臣

海軍大臣

電訊

吳鎮守府司令長官 官務局接受

野島、行動ヲ左、通定ム

二月一日横須賀發、三日吳着、十日發、十一日西戸

崎着、十七日發、佐世保着、二十日發、二十四日馬公

着

(録井納)

軍務局

光

公報

號外

大正十三年二月十四日於西戶崎

第二課

海軍省副官殿

特務艦野島

軍務局接受

1311

公報掲載ノ件

左記ノ通海軍公報ニ掲載方御配慮得度
右依頼ス

左記

◎特務艦野島三月中行動豫定

所在一著一發

備考 吳ニ於テ渠條理ヲ行フ豫定

終

馬公	高 雄	佐 世 保	吳
三月三日	三月三日	十日	十五日
三月三日	六日	十日	

海軍

横濱牛革十三行郵便紙

軍務局長 志 第一三六長



大正十三年一月十日

局長

舞鶴^{鎮守府}参謀長 丹

一月十五日 起

電報

一月十五日 發

特務艦便船一件 一月下旬 野島 貴地 回航 予定

終

(宮井船)

1043

軍務局

大正七年

十二月十日

午前

時分

局發

第三課



午後

時分

局著

受信者

軍務局

電報

電報

12月十日

1044

大、通横須賀、鎮守府、電報セリ
 青島、十一月、軍務、核、密、一、七、強、一、二、依、レ、ハ
 來、三、月、中、旬、尚、後、一、番、港、ノ、コ、ト、ト、議、セ、ル、カ
 加、ノ、通、リ、行、動、セ、シ、メ、ラ、ル、ハ、否、ヤ、ハ、横、須、賀、大
 一、部、送、物、件、ノ、部、合、ア、リ、者、ハ、變、更、ノ、見、込
 ナ、レ、ハ、至、急、電、報、通、シ、ア、リ、後、復、シ、テ

軍務、第二、七、年、ノ、二、八、日、ニ、軍、務、局、ハ、六、三、号、ノ、令、改、行、サ、レ、リ、且、つ、青、島、本、月、
 十、日、由、令、第、二、七、号、ヲ、以、テ、備、任、ト、セ、リ、但、此、前、青、島、ノ、電、報、ノ、事、

軍務局

第一七一號

大正十二年二月十三日

第一課 舞鶴鎮守府參謀長得島祐吉

海軍省軍務部長大角岑生殿

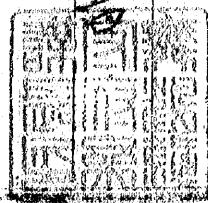
横須賀鎮守府參謀長宇佐川知義殿

特務艦配給ノ件

過般高崎青島便ヲ以テ青港ヨリ各地ニ保轉ス
又ハキ物件輸送致候候慶殘留品多數ニ高
一面ノ配船ヲ要シ候ニ付三月中旬當地經由吳
及横須賀行特務艦配給方御配慮ヲ得度

軍務局
右協議ス

二月十三日



進テ高崎便ノ經驗ニ徴シ左記ノ件ニ考慮相煩度
一、積込作業ノ關係上滞泊日數少クトモ中三日
間ヲ希望ス

二、大形浮標籠量等嵩ハリ品多キヲ以テ相膏

「ホルド」ラ音方面ノ爲ニ保留ニ置ル度

三、主ナル輸送物件 別紙ノ用

(別紙ニ系係)

(終)

輸送先		品	日	重量	数量	記
吳	沈	沈 錘		一〇、〇〇〇斤	一五	
吳	浮	浮 標		一三、〇〇〇斤	一二	
撞須賀	浮	浮 標		八三 耗上下 三〇斤	二	
撞須賀	ピン子	ピン子			一	
撞須賀	外ハのシ	外ハのシ 檣 檣形		二、二〇五キ	一	檣用ニ採行
吳	陸	陸 用 正		約 一五 トン	一	陸用ニ採行
撞須賀	三式	三式 古 檣 砲 補 用 單 車		二、五〇〇	一	陸用ニ採行
撞須賀	燈	燈 器 受 金		二六、三三	一六個	外三葉

軍務局

第三課



大正十三年二月廿六日

軍務局長

吳鎮參謀長宛

二月廿六日 起
二月廿七日 發行済

特務艦野島行動予定ノ件

本件ノ周知テハ昨年八月十六日附軍務機密第廿六三號ヲ以テ予定セシ居候處舞鶴軍港整理上ノ都合ニ有之本年一月下旬高雄ヨリ佐世保着以後ニ於テ同艦ノ行動ヲ右記ノ通妻更方可知御取計相成度
右申進ス

記

軍第九四號

富井總

海軍

模造小葉十三行單紙

佐世保、榮徳山、鎮海、舞鶴、中三日在泊之要入、ヲ全テ

号着

追テ本件肉係各鎮守府、要港部、ニモ通牒、設置候

(総)

(宮井總)

1050

海軍

横濱牛車三行軍紙

軍務局

第一〇三三



大正十三年二月廿六日

軍務局長

横濱 佐馬 鎮要

参謀長宛

特務部 恒野島行 勅示定ノ件

本件、内之令般是、鎮参謀長宛、別紙申進、置候条御
了知、置相成度

右申進ス

別紙

執

係

軍務局

L

総

(封筒)

軍務局

公報



大正十二年二月十七日 北佐吾保

特務艦野島

12頁

用紙

海軍省副官殿

公報掲載件

左記ノ通海軍公報ニ掲載可御取慮ヲ
得度
右依頼ス

左記

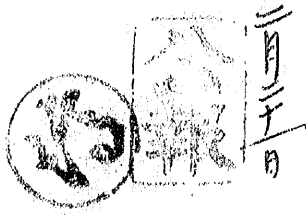
特務艦野島行動豫定変更

基隆空襲後
三
世
の
佐
々
大
水
中
信
標
法
早
二
南
海
の
方
す
ん

吳	佐 若 保	基 隆	高 雄	所 在
十七日	十三日	七日	三月三日	著
	十五日	十日	三月六日	發

如

1053



海軍
横濱平樂十三行郵便

大正十二年二月二十日午後三時。吳鎮守府司令長官

海軍大臣

電報記

野島、行動ヲ左ノ通定ム

今二十日佐世保發、二十三日基隆着、二十五日發

二十七日馬公着、三月六日發、高雄着、八日發

十二日佐世保着

野島艦長、未電後、鎮長官、右に通定シ

電報シ来ルナリ

(宮井納)

12月21日

1054

海軍大臣男爵加藤友三郎殿

大正十年二月二十一日

吳鎮守府司令長官 鈴木貫太郎

海軍大臣男爵加藤友三郎殿

野島行動豫定一件

特務艦野島今次佐右保發以後行動ノ事ノ通定

右報告ス

地名 着 發

佐右保 三月十五日

徳山 三月十六日 二十一日

鎮海 二十二日 二十七日

舞鶴 二十九日 四月二日

吳 四月四日

軍務局

三月五日

公報

海軍

海軍

終

軍務局接受
12. 前并查

大正十二年三月五日

北園局有

田中舞鶴港務部副官殿

特務佐野島行動予定

三月五日 起
三月五日 發行

本件は内山本月三日附録外は下脚は合右之候處同様に
行動予定越此之右之候条

右回各

三月二十九日

鎮梅より直身地着

四月二日

直身地着より向

終

(宮井納)

号外

大正十二年三月三日

田中兼徳海軍港務部副官

北岡海軍省軍務局長殿

運送艦行動豫定ノ件

本月下旬頃特務艦野島雷港ニ寄港ノ由ニ奉命
何日次入港ノ豫定ナルヤ行動豫定決定ニ居リハ
至急出通知ヲ得取

取照 合不

(終)

無川 謹啓

光
軍務局

公報

大正十二年三月二十四日 水鏡海

第一課

特務艦野島

海軍省副官殿

公報掲載方針

左記ノ通海軍公報ニ掲載方御取慮ヲ得度

右照会云

特務艦野島行動豫定

所在

著

發

吳

四月十六日

西戸崎

四月十七日

二十一日

軍務局
局長
受

四三二八上

大正十二年四月五日

吳鎮守府司令長官 鈴木貫太郎

海軍大臣男爵加藤友三郎殿

第二課

野島行動豫定ノ件

特務艦野島、行動ヲ左ノ通豫定ス

右報告ス

記

地名 着 祭

号 四月十三日

西戸崎 四月七日 三日

横須賀 三月九日 十八日

四月九日



軍務局謹啓

12. 賀正

1060

大湊

五月一日

五月六日

横須賀

九日

十六日

号

十九日

—

終

命
田
部

1061

局長

局長

大正十三年四月十日

局長

呉鎮参謀長宛

電報

四月十日 日 電報

野島ノ塔載スヘキ大湊行ル炭二八〇トニ内訳ハ第一
種和炭二〇〇ト横濱賀陽第一種和炭八〇ト大湊
揚子下ニ妻更サレタ

終

(富井納)

軍務局

四月三日

八森



第四〇一三三ノ二

大正十二年四月二十日

吳鎮守府司令長官 鈴木貫太郎

海軍大臣男爵加藤友三郎殿

第二課

野島行動隊定変更ノ件

四月五日附吳鎮守府第三號ノ一八ノ二報告ノ野島行動隊定中左ノ通変更ス

右報告ス

記

地名

着

双糸

横須賀

五月一日

大湊

五月四日

七日

楊俊賢

吳

五月十日

十九日

五月十五日

終

(命出紙)

1064

軍務局

送外

大正十二年四月十七日 水戸崎

特務艦野島

海軍省副官殿

公報掲載ノ件

四月廿六日
左記ノ通海軍公報掲載方御配慮得度
右依頼ス

◎特務艦野島行動豫定変更

所在

若

發

水戸崎

四月二十一日

横須賀

四月二十四日

五月一日

<p>大 槿 差 須 賀</p>	<p>五月四日 十九日</p>	<p>七日 十五日</p>
<p>○ 猪務 兼 野鳥 宛 郵便物 送 失</p>		
<p>四月二十日 追到 著見 込ノスノム</p>	<p>西戸崎</p>	
<p>三十日 追到 著見 込ノスノム</p>	<p>槿須賀</p>	
<p>五月六日 追到 著見 込ノスノム</p>	<p>大 湊</p>	
<p>十四日 追到 著見 込ノスノム</p>	<p>槿須賀</p>	
<p>其ノ後ノ</p>	<p>是</p>	
<p>終</p>		

軍需局

軍務局

八二

大正十二年五月二十二日於吳

特務艦野島

海軍省御申

第六回任務終了報告

一本艦行動概要

五	二	二	一	四	月	一
一	五	二	七	一	日	本
横須賀		西戸崎		出	行	艦
	横須賀		西戸崎	入	動	行
				港	概	要
				港		
				備		
				考		

第一種和皮子。噸量重和皮子。噸量載

第二種和皮子。噸量重和皮子。噸量載

12.5.26 改修

右報告之	軍需品其他	一三八、八五八	横須賀	四	三〇七	火	五	七五
	私有牧送品	七、九七六	横須賀	四	二八	火	五	五
	便乗者	一一名	横須賀	四	二七	火	五	五
	軍需品其他	九、四〇	火	五	七五	横須賀	五	一三二
	私有牧送品	四、八二六	火	五	五	横須賀	五	一三
	便乗者	三二名	火	五	七	横須賀	五	二二
	軍需品其他	二六三、二四〇	横須賀	五	一四三	差	五	二二〇
	私有牧送品	一、五〇七	横須賀	五	一五	差	五	二〇
	便乗者	一〇六名	横須賀	五	一七	差	五	一九
	軍需品其他	一六、七四八	横須賀	五	一五三	伏世保		
私有牧送品	一、五五六	横須賀	五	一五	伏世保			

海軍

軍務局長

第二課長

海軍

横濱小葉十三行郵紙

大正十二年五月二十二日

吳鎮參謀長宛

局長

野島往航ニ基隆寄港ノ件差支ナシ、日取決定
七八廿北在勤海軍武官ニ電報アリタシ

五月廿二日
五月廿三日

終

(富井納)

1070

軍務局

海軍

横濱中葉十三行算紙

大正十一年五月二十一日

午後一時一分 海軍書署

第一課

發信者

長官

受信者

海軍省長官

軍務局長

電報譯

12月2日

野島の電報等ノ關係上往來之基
陸ニ空可也及シ長支十ナリ

第四母本所用警為浮標ニ物多クハ為差ナリ

富井納

軍務局

第二課

海軍部

海軍部

大正十二年五月二十日

第二課長

台北在勤海軍武官宛

特務艦行勤予定之関件少月二十日發付済

本年六月より九月に至る由ニ於テ貴地方面ニ回航スル持
務艦便別紙一通ニ有テ候條御了知相成度申野

島ノ櫛ニ於テ六月下旬卑今ノ年ニ基隆空ノ港トシテ六月中

旬馬公入港前基隆空ノ港ノ事ニ変更セシ(空ノ港日取)

是鎮守府ニ直接貴官宛通報(管)又六月中下旬

軍務局

(密非納)

三日月集公高雄由往復便ハ之ヨクテ脚通知有之假高
雄州経管上相唐用材ヲ馬公ニ運搬セシカ爲ノモノニ有之假
糸本件肉俵ノ向ノ可然市通知軍相成度

右並今々々

別紙

表

右等三軍上事別種別知行初概定
表第一(陸軍部ノ部)係行ノ

(印)

吳鎮守府司令長官 鈴木貫太郎

大正十二年 五月二十四日

海軍大臣 財部 齋藤

野島行動豫定 一件

特務艦 野島 行動 左 通 豫 定 ス

右 報告 ス

左 記

所在

着

發

界 西戸崎

佐世保

基隆

基隆

六月四日

六月五日

六月十日

六月十七日

軍務局

六月二十日

六月二十日

六月二十日

海軍

1074

12. 五月廿日 軍務局接受

軍務局

第三課

号外

大正十二年五月二十五日次号

特務艦野島

軍務局接受
12. 野島台

海軍省副官殿

公報掲載件

左記ノ通海軍公報掲載方御取慮得成
右依頼之

野島行動豫定表

新衣

著

發

差

西戸崎

六月五日

六月四日

十日



官房
12. 野島台

1076

五月廿五日
公報

175

伏世保	喜隆	高公	高公	高公	伏世保
十月	十七日	二十日	二十日	二十日	二十日
十四日	二十日	二十日	二十日	二十日	二十日
伏世保	伏世保	伏世保	伏世保	伏世保	伏世保
六月三日	六月三日	六月三日	六月三日	六月三日	六月三日
野島宛郵便物	野島宛郵便物	野島宛郵便物	野島宛郵便物	野島宛郵便物	野島宛郵便物
九月迄	九月迄	九月迄	九月迄	九月迄	九月迄
十三日迄	十三日迄	十三日迄	十三日迄	十三日迄	十三日迄

特務局

大正十二年六月三日

大正十二年六月三日

呉鎮守府司令長官 鈔小首長郎

海軍大臣 財部 彪殿

野島行動豫定變更ノ件

五月二十四日 呉鎮守府第四三號、二五ノ四報告特務艦

野島行動豫定中 左ノ通改ム

右報告ス

着 世殿

七月三日

馬公名 七月八日 十日

鎮海 七月八日 十日

伏世保 十日

終

12. 官四日

事務局長殿

官房受

四〇三三

大正十二年七月三日

吳鎮守府司令長官 鈴木貫太郎

海軍大臣 財部 彪 殿



軍務局長 兼

12月5日

軍務局

特務艦 野鳥の修世保祭以後、行動ヲ左記ノ通豫定ス

右報 告ス

記

着

祭

地多右

修世保

七月十四日

吳

七月十六日

二十一日

徳山

二十一日

二十六日

公報

七月五日



125

旅順防備隊司令宛

大正十二年八月三日

第二課長

八月三日 起案
八月三日 發電濟

~~實地用~~ 野島本年十月上旬貴地へ回航ノ事
定、右以外今所特務艇便君線難

録

(宮非納)

海軍 横濱中葉十三行部紙

1084

軍務

電報着信紙

局 着		局			發		名氏所居人信受	
取扱者	受信	付後	受午前	付午前	第一	第一	名氏所居人信受	
		時分	時分	時分	號	局	官報	
		字	分	日	號	局	名氏所居人信受	
定指							名氏所居人信受	
事記							名氏所居人信受	
番着							名氏所居人信受	
數紙							名氏所居人信受	
番號							名氏所居人信受	
印附日信着							名氏所居人信受	

取扱者
受信
付後
時分
字

受午前
付午前
時分
日

第一
號

第一
局

官報

名氏所居人信受
グ
ト
ダイニカ
水三

トウキハカイコウヨテ
イノタナビト
リヤメニツキダ
ニツサエムケラル
ヤエエヒソノタ
エコモノツゴ
グ
者被
左付
お其
3

定指
事記
お周
お周

番着
數紙
番號

第一
第二
〇
號

印附日信着

名氏所居人信受
市ル
名氏所居人信受

軍務局

四三三三〇

大正十一年八月二十一日

吳鎮守府司令長官 鈴木貫太郎

海軍大臣 財部彪毅

野島行動豫定ノ件

特務艦野島ノ行動ヲ左記ノ通豫定ス

右報告ス

第三課 左記

地名 着 發

八月廿四日

吳 八月三十日

佐世保 八月三十日

鎮海 九月四日

舞鶴 七月 十二日

行

代

第二課長

大正十三年八月十五日

事務部長

依願冬謀長宛

月五日 發行

補充交付用時務主任便之内件

如件之内令股友^{要目}通呈、鎮守府參謀長宛

申述改定~~條~~條^條了知、上本年冬大演習之際、臨時補充

臨時補充^{補充}交付、便乘ニ利用せん様致す

右通牒^{通牒}申述

記

野島、九月上旬系^系。發呈^{發呈}回^回、遂次今日十五日迄、依
世保^{世保}入港^{入港}、依世保鎮守府^{鎮守府}之在^在臨時補充^{補充}交付^{交付}（自負）

（當非期）

機造平糶
第五四號

海軍

機密中葉十三行界紙

便衆せしめん上ニ成早ク其ノ取捨せしめんヲ

自ニ休母保ノ取置スノキ其身ノ并ニテ今ノ處特ニ厚候
船便ク差保ルニト困糺ノ有ニ修條申候條

(印)

(富井納)

1089

佐世保海軍入事部長
第一三〇

大正十一年九月一日

佐世保海軍入事部長

海軍省事務局長 敬

特務艦隊司令部 閣下件

軍務局長 敬

12月16日

軍務局

量の効未定なりし聯合艦隊ノ本府新編艦船本月中旬
青龍島海軍出立ノ旨合隊ヲ通牒有之候ニ就テハ本月中旬
特務艦隊司令部 候衆員ノ本ノ必要ニ依テ本府艦下等ノ
隊後備砲兵(約百卒名)ノ關係トモ本府自平七〇次砲兵
四艘ノコトニ對シテモセシメテ本府ハ本ノ好都合ニ有之候事
本件ノ閣下ノ件ハ本府ノ件ニ依テ本府ノ件ニ依テ本府ノ件

軍務局
第七
之
辨



大正十二年十月三日午後七時四十五分
清水着

静岡県

海軍省

軍艦野島木材約九三四六石二分積二日
午後六時横浜に向

85
11000トレナ

12月3日

軍務局長受

1092

大正拾貳年拾月十五日

大正拾貳年十月十五日

公報

吳鎮守府司令長官 鈴木貫太郎

海軍大臣 齋藤實

野島行動豫定件

特務船野島行動ノ左記ノ通豫定ス

右報告ス

左記

地名

著

日

吳

十月三日

長崎

十月三日

十月四日

佐世保

四日

八月

旅順

十日

十六日

軍務局長 齋藤

12. 大正

字二番

官房

1093

上海

十月十九日

十月二十五日

佐世保

二十八日

天候甚急、池ノ都令修リ予定リ変更スルヤト云ヘシ

尾

海

海

242

海軍 第二三三七號

大正十二年十月十六日

佐鎮 鎮要

參謀長宛

軍務局長

特務艦野島行馬予定

本件之肉之今般別拜、通且鎮守府參謀長宛申
進改置候條請了知相成申
右通牒方申進ス

別拜 係

終

軍第七十三號 林

大正十二年十月十六日

海軍

模造半葉十三行貫紙

(宮井納)

1095

海軍 模造平葉十三号算紙

大正十二年十月十六日

軍務局長

吳鎮、參謀長宛

特務艦野島行旅予定、件

別紙、通鎮海要港部参謀長、電報有之、但、付

了、来十日、初頭、特務艦野島、横濱、由、佐世保、乗旅

順回航、途次、便宜、鎮海、へ、安、港、へ、下、御取計、相、成、候

右、通、牒、等、申、進、上

別紙、添

(終)

軍部七五三番

宮井納

電報局

海軍

海軍省
大正十三年十月十日

大正十三年十月十日

日 午前 午後 時 分 時 分 海軍省 屬

受信者 海軍省 電信者 海軍省 郵務局長

電信者 海軍省 郵務局長

電報譯

世傳... 電信... 海軍省... 郵務局長... 大正十三年十月十日

3

富井納

1097

243

海軍

横濱平葉十三行罫紙

大正十二年十月十八日

漢口

第遣外艦隊参謀死

北局員

八佐世保榮鎮海隊順之丞

野島十月十九日上海君二十五日榮ノ丞

終

十月十八日
横濱平葉十三行罫紙
印

(宮井納)

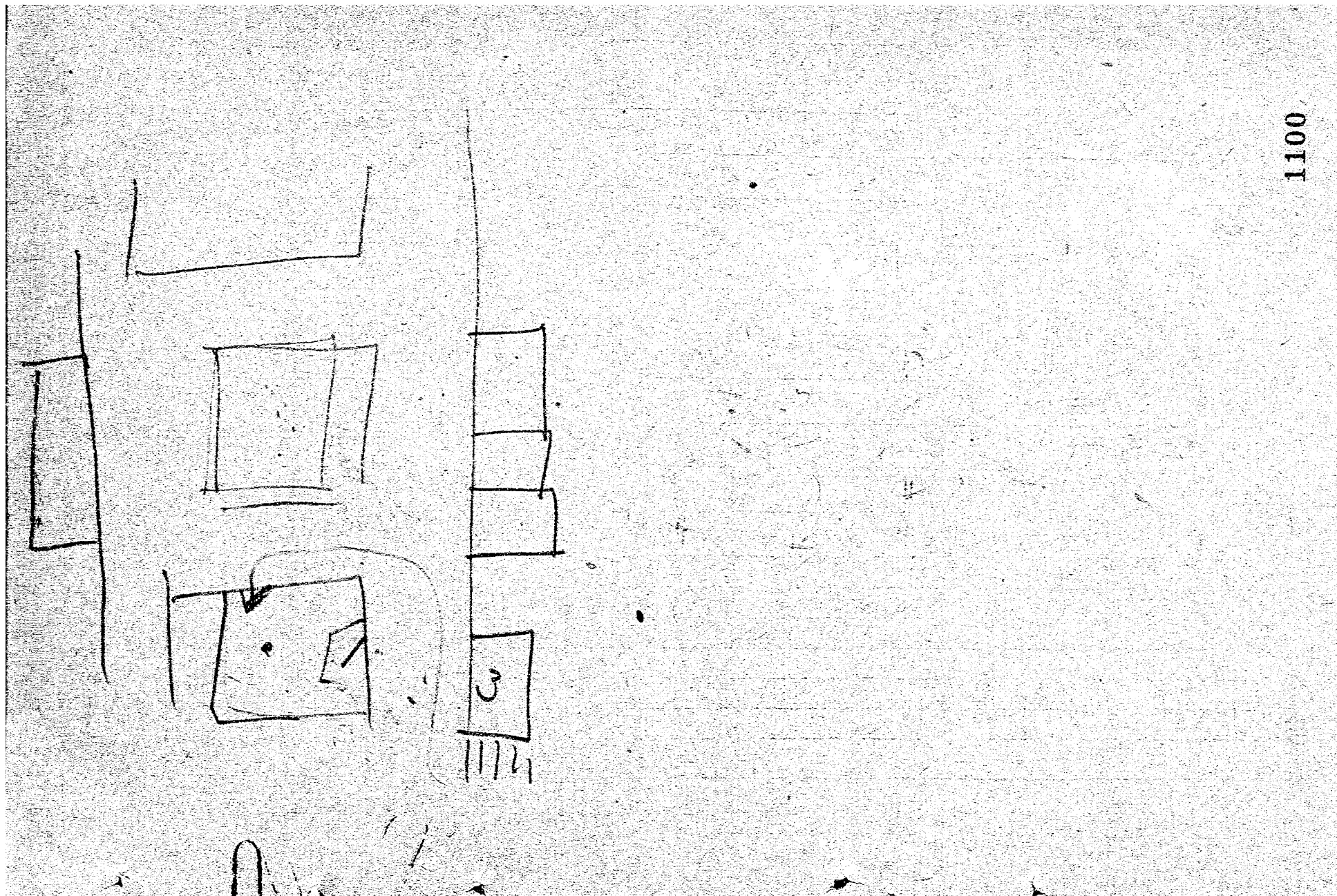
350

紙用報電所信線無軍海京東

印所長	發信人	受 信 人					番 號	時 刻	送 受 信	着 信 所	發 信 所	受 信 所	送 信 所	大 正 年 月 日
	*	*	*	*	*	定 數								
大臣官房印	一ヶ戸				軍務局	* 四五	三四	三	四	新東	東	電		
各局發電番號	記 事													
	シク = ヤキ													
部各印局	キハジタ													
	一ヅケオ													
セシマ														
ヒツノヲキ														
シガシヨ														
ラヤク														
サインイ														
レリハ														
クヤイエ														
	100	90	80	70	60	50	40	30	20	10	分	分		

様式第一
(註) * 印欄ハ本紙ヲ送信用紙トスル場合各局部ニ於テ記註スルモノトス

1099



1100

軍務局

軍務

大正十二年

十月

二十四

日午

時

分

局發

横濱牛車電報譯文留紙

第二課

電信者之局

電信者吳鎮守府參謀

電信者之局

12. 内カ香

軍務局接受

野島上甲板ノ構造並ニ輸送スベキ艦載
水雷艇要目通り調査ノ結果ニ依ルハ
艦艇收容ノ細目ハ詳細長崎ニ同艦ニ載
セテ見サレバ不分明ノ状態ナリ御参考迄

公報

増刊

坊

軍務局

吳鎮守府第四編 五〇九

大正十二年十月二十五日

吳鎮守府司令長官 鈴木貫太郎

海軍大臣 財部 彪政

第二編 吳鎮守府行動豫定変更件

本月十五日吳鎮守府第四編五〇九以下報告三條の特
務艦隊直島行動ヲ左記通改ム
左記

左記

所在

著

發

吳

十月三十日

長崎

十月三日

十月四日

佐世保

四日

八日

軍務局接

1102

12. 二角一紙

軍務局接

292

海軍

機雷中隊十三行録紙

大正十二年十月六日

漢口安宅

軍務部

第...外艦隊司令部宛

十月六日

本日の時分發

本月十九日頃上海看ノ野島ニハ貴隊用ノ艦載水雷艇(今稱第...号)ヲ塔載ニ居レリ引取方予ノ準備アリ度

終

富井

111
艦上燃料庫の増設

大正十二年十月四日

野島 特務艦長

軍務局 濟

軍務局 野島

軍務局 野島

12. 青木

第一遣外艦隊司令官用水雷艇搭載方
完了ス

横濱小栗下二行郵船

海軍

(納林小)

1105

公報

七月廿八日

四三 五〇七

大正十二年十月二十二日

吳鎮守府司令長官 鈴木貫太郎

海軍大臣財部彪殿

堅島行動豫定件

特務艦堅島ノ行動ヲ左ノ通豫定ス。
右報告ス。

左記

着

弁

(一部変更)

地名	着	弁
佐世保	十一月二十四日	十一月二十二日
西戸崎	十一月二十八日	十一月二十八日
舞鶴	十二月五日	十二月三日
		十一月十一日

官房 陸 陸 陸 陸

12. 青カ習 軍務局接受

呉	佐世	鎮海
全	全	全
十九日	十五日	十三日
	全	全
	全	全
	十七日	十四日

(終)

野島

陸軍部

大正十年十二月十日

券 課長

特務艦野島艦長宛

東福寺用材運搬 関係件

十月二十日 起案
十月二十日 發行済

本件関係は本月十三日府県鎮券置籍の旨により貴艦行脚
予定は鎮長官より大臣宛報告有之候處本年 月二十九日

大改着の際に於て東福寺側ノ希望する貴艦繫泊地は八樽島鉄

工所前之有之候条右記知置相成度候

左記東福寺指定ノ取扱者ハ富島組陸業部ニ由有之候

軍第八
四九號

右記陸軍部宛に於て
海軍

終

(納原 裁)

軍務局

十二月二十五日



四五
四七

大正十一年十二月二十三日

第二課 吳鎮守府司令長官 鈴木貫太郎

海軍大臣男爵加藤友三郎殿

野島行動豫定ノ件

特務船野島ノ行動ヲ左ノ通豫定ス

右報告

地名

着

祭

高雄

一月六日

佐世保

一月十日

十二日

西戸崎

十三日

十八日

吳

二十日

二十四日

大阪

二十五日

二十七日

海軍

